



The Star in the West

東京西ワイズメンズクラブ会報

THE SERVICE CLUB FOR THE YMCA

THEY'S MEN'S CLUB OF TOKYO-NISHI(03)3 202-0342

c/o TOKYO YMCA YAMATE CENTER, 2-18-12 NISHIWASEDA, SHINJUKU-KU, TOKYO 169-0051, JAPAN

国際会長主題 「より良い世界のために、共に」
アジア会長主題 「大きなインパクトを起こそう」
東日本区理事主題 「ワイズの方向性を見極める」
「ユースエンパワーメントをYMCAと共に」
あずさ部部長主題 「未来のために行動しよう」
東京西クラブ会長主題 「居心地の良いワイズライフを楽しもう」

2025 年 4 月号

NO 583

イエスは、そこから彼らをベタニアの辺りまで連れて行き、手を上げて祝福された。
そして、祝福しながら彼らを離れ、天に上げられた。

(新約聖書 ルカによる福音書 24章 50～51節)

季節の逆転と脳の破壊？

大野 貞次

4月1日なのに真冬の寒さになり一気に季節が逆戻りをしてしまいましたね。3月の末には桜も満開と春を思わせる日々が続いたのに何か気候がおかしくなりつつあるのでしょうか？

私の体も少しずつおかしくなりつつあります。どこがと言うわけではないのですが、足が重くしびれ、歩く事が辛くなり家でゴロゴロとしているこの頃ですのでこの寒さは大変こたえます。

こんなことしか書けないのは頭も狂ってきているのかな…。

ワイズのことを書くつもりが何も思い浮かばず、こんなことしか書けなくなってしまいました。私たちのクラブも会員が少なくなり例会も3クラブ合同の例会となり、それなりの活動が少しはできているのかなと思いますが、

関東地区の各クラブも段々と会員が減りつつある昨今ですね。何とか若い会員が入会することを願うばかりです。これも私の個人的な意見かもしれませんがね。

世間では4月には企業・団体等に新成人が生まれ、華やかな活動が始まりますね。ワイズの新しい年度は7月からですので、そこに新しい会員が生まれることを願い祈りたいと思います。



WHO参加者の茶話会

3月29日(土)10時から、三鷹の喫茶店でWHO参加者との「吉田さんを囲む集い」が開かれました。昨年11月で一応終了したWHOを助けて下さった樋口順英さん(東京グリーン)、関喜一郎さん(元石巻広域)のお2人が、コース集と長年撮り貯めた写真を披露するため改めて企画実行して、思い出話に浸り協力者には記念の品を贈呈し、午後まで別れを惜しみました。氷雨の中54人の方が駆け付けて下さいました。

クラブ役員

会長 神谷 幸男
副会長 本川 悦子
書記 村野 絢子
会計 篠原 文恵
担当主事 波々壁 賢

3月の記録

在籍者数	12人	武蔵野多摩	3人	ニコニコ	0円
(内功労会員)	1人	たんぽぽ	4人	クラブファンド	0円
出席者数	10人	ビジター	2人	ファンド残高	44,715円
メーキャップ	0人	ゲスト	4人	ホテ校ファンド	20,700円
出席率	91%	出席者合計	23人	ホテ校残高	53,495円

4月合同例会のご案内

強調テーマ： Week4Waste
RBM

4月例会は、中高年が元気になるお話（勉学、ロンドンでの日常生活、お付き合い、想い等）を伺おうと企画しました。

日時：4月17日(木) 18:30～20:30

会場：東京YMCA山手センター 303号室

会費：1,500 円



HAPPY BIRTHDAY

29日 服部 節子

受付 篠原、藤江、山口

司会 石井 元子

東京西クラブ会長 神谷 幸男

開会点鐘

いざたて斉唱

聖書朗読・祈祷

会長挨拶

ゲスト・ビジター紹介

会食

一 同

大野 貞次

神谷 会長

各 会 長

卓話 「熟年語学留学中のあれこれ」

首藤真理子さん

(卓話者紹介 本川悦子)

ハッピーバースデー

ニコニコ

YMCA 報告

ワイズ報告

閉会点鐘

各 会 長

一 同

各担当主事

各 会 長

東京武蔵野多摩クラブ会長 渡辺 大輔

ー3月事務会報告ー

日時:3月 27日(木)16:30～18:00

会場：阿佐谷地域区民センター

第7集会室

出席者：石井、神谷、篠原、本川、
村野繁、絢子

<報告事項>

◎3月例会報告

3月13日(木) 18:30～20:30、
東京 YMCA 山手センターにおいて、3クラブ合同例会（ホスト：東京たんぽぽ）が行われた。メインプログラムは、「たんぽぽ寄席」。橘ノ百圓さんの落語2席は私たちを大いに笑わせてくれました。会場を通常の円卓に並べ直して会食。以下通常のプログラム。出席者はリアル23名（うち当クラブ12名）、ZOOM2名

◎3月度会計報告。

◎山田利三郎さんに関する近況報告。

◎その他のワイズ報告

<協議事項>

◎4月例会について

◎ブリテン4月号編集会議

◎その他、メネット会活動支援、
奈良傳賞候補者推薦の件、いず

れも見送りとした。

(書記代理 神谷幸男)

今後の行事予定

◇1. 第28回東日本区大会

日時：2025年6月7日(土)

会場：ライトキューブ宇都宮

(JR宇都宮駅直結)

大会テーマ：ユース・エンパワ
ーメントの実現、Y's×SDGs
Youth Action

登録費：18,000 円

参加予定：神谷・篠原・村野繁・
絢子・高嶋

◇2. 第28回西日本区大会

日時：2025年6月14日

会場：ANA クラウンプラザ神
戸

登録費：21,000 円

参加予定：高嶋

◇3. 第31回アジア太平洋地域大会

日時：2025年8月1日～3日

会場：熊本市・熊本城ホール

登録費：45,000 円

参加予定：神谷・篠原・高嶋・
本川・村野繁・絢子

◇4. 西連合IBC・DBC大交流会

卓話者紹介

首藤真理子(しゅとう・まりこ)さん

本川さんとは子どもの幼稚園の時からのお付き合い。

ご実家は岡山、水島で病院経営のお医者さん。外国人船員の患者さんが多く診療に来ていたので英会話が身近にあった。

1970年(昭和45年)共立女子大学英文科卒。同年5月渡英 Southampton general hospital にて看護助手として2年弱勤務。

1972年から数年、郷里の水島で船会社の代理店にて通訳兼一般業務として勤務。

近年ロンドンにホームステイして熟年留学。

会計からのお願い

後期分の会費を例会に持参か、振込でお願い致します。

振込先

みずほ銀行方南町支店

普通口座 8027928

東京西ワイズメンズクラブ



総勢23人の方で記念撮影、他にZOOM参加の方も含め賑やかに会を楽しみました

「たんぽぽ寄席」で落語を —3月合同例会報告—

3月13日(木)の合同例会は東京たんぽぽクラブの恒例行事「たんぽぽ寄席」、定刻18時30分から開かれました。

今年の在京新年会で落語をお願いした橘ノ百圓さんをお招きしたのであらかじめ高座を作り、粋な和服姿の百圓さんにご登場

いただきました。

食事の前に一席をということで、椅子は劇場風に並べ、百圓さんの噺「厩火事」「阿武松」のあと、お弁当を食べながら和やかに歓談、その後各クラブからのお知らせ、ハッピーバースデーを歌い閉会となりました。

(篠原文恵)

出席者：＜メンバー＞宮内・山口・渡辺（東京武蔵野多摩）、小原・服部・藤江・小畑（東京たんぽぽ）、石井・大野・神谷・河原崎・篠原・本川・村野絢・繁・横山・吉田（東京西）、＜ビジター＞樋口順英（東京グリーン）、長谷川あや子（東京八王子）、＜ゲスト＞波々壁賢・橘ノ百圓・小崎初恵・辰口政子、＜ZOOM参加＞江尻明子（東京武蔵野多摩）・小仁恵子（東京グリーン）



八王子チャリティーコンサート

3月15日(土)に東京八王子クラブ主催の第23回チャリティーコンサートが行われました。

このコンサートは、対人地雷、クラスター爆弾廃絶、そして能登半島地震・豪雨被災者支援のためのコンサートです。

出し物は毎年変わって、クラシック音楽、ジャズ、ポピュラー

など様々なジャンルの音楽が催されています。

今年は地元八王子出身の声楽家奈良原繭里さんが、去年に続き2度目のステージでした。

第1部のステージは出し物の歌に合わせて真っ赤なドレスで登場しました。

ヘンデルのオペラ、シューベルトの「野ばら」、「Ave Maria」、誰でも知っている北原白秋作詞、山田耕筰作曲の「この道」、「からたちの花」などを歌いあげました。またピアノ伴奏者の松井理恵さんが、ショパン作曲「華麗なる大円舞曲」をソロで演奏してくださいました。

第2部は可愛いピンクのドレスで登場しました。モーツァルト作

曲オペラ・フィガロの結婚から「恋とはどんなものかしら」、ドボルザーク作曲「我母の教え給いし詩」を歌いました。

次に会場のお客さんと、「花」、「翼をください」、「上を向いて歩こう」を合唱しました。

そして奈良原さんの歌と一緒にヴァイオリンを弾いていた笹川哲史さんが、ソロでクライスラー作曲「愛の喜び」を演奏しました。

最後にヨハンシュトラウス作曲のオペレッタ「こうもり」より「チャールダーシュ」を歌い上げてコンサートは終わりました。

会場は地元出身の歌手なので、会場は一杯のお客様でした。

(本川悦子)

ノーベル賞応援ツアー同行 記・東京グリーンクラブ訪問

3月19日、千葉クラブ会長の青木清子さんがノーベル賞受賞ツアーに参加された体験談を東京グリーンクラブで卓話されるとのこと、入市被爆の影響を受け

ながらも、その後の平和運動にかかわってこられた経験談と共に、オスロでのノーベル賞授賞式を身近で観察されたお話を聴くことが出来ました。授賞式の様子はニュースなどで見る事ができたが、ご主人の一芳氏による現地

の写真を交えて式前後の行事への参加や、受賞代表団30人と共にオスロ市民との交流などを拝見し、意義深い運動をこれからも続けて行くとの力強い思いを受け取ることができました。

(篠原文恵)

日々の中から 調子に乗るなの巻

村野絢子

何といっても 83 歳、こぶが引っ込んできて、痛みは遅れてやってきた。首・肩・右腕・背中 of 右半分痛い痛い。整形外科でレントゲンと MRI を撮り、痛み止めを処方された。

そうすると動きたくなる自分。土曜日の夕方「そしてアイヌ」の映画を見るという夫に「わたしも行く」と言ってしまった。私のせいでぎりぎりに着き、最前列の座席しかなかった。首を上げた状態でじっと見るのは良くなかった。また首に痛みが来た。整形外科に行き、前回同様 MRI とレントゲン検査をした。頸椎がむち打ち症の状態と診断され、「首のサポ-

ーターを入浴時以外つける」ように言われた。サポーターを付けたとたん頭が軽くなり、歩いても痛みがほとんど無い。そうするとまたしても動きたくなる自分、教会のミカンでマーマレード作り。

現在、我が家は 6 人家族、6 人目は、モーリシャスから来ている孫のサラの友人は背高（靴のサイズ 27.5cm）のきれいなドイツ人。ハンブルグの大学でデザインの勉強をしている。5 週間の日本滞在中でビーガン、肉類すべてダメなのでメニュー作りと 6 人分の食材の買い物を近くのスーパーマーケットでとフル回転している。

今はすぐ使える状態のタコ、サケなどの魚・貝類があり、ホワイトシチューを加えて煮込めば出来上がりという手軽さ、2 週間我が家にいて来週帰国する。

その 2 日後には別の孫の友人がアメリカから鈴鹿サーキットを觀に来日し、4 日間泊まりたいとやってくる。孫のリアナとアメリカンスクールで小学校から高等学校まで一緒だった。

どんな子かな？ 楽しみである。



YMCA Today

■ホテル学校では 108 人のホテルリエの卵たちが卒業を迎え、3 月 18 日に卒業式ならびに校友会入会式を霊南坂教会にて挙行し、同日にホテル雅叙園東京（目黒）にて卒業パーティも行われました。4 月からは卒業生が各々で決めた次のステップへと歩みだしました。新社会人として巣立つこの時期は寂しくもあり、誇らしくもあります。今後の活躍を期待しています。そして、86 人の新入生を迎える入学式を 4 月 3 日に挙行いたします。大学進学率が高まる中、ホテル業界を目指す高校新卒者、大きく数を伸ばす留学生。YMCA での学びと経験が成長の糧となり、インバウンドを始めとした業界の回復とともに人材不足が叫ばれるホテル業界へ、より良い人材を輩出できるよう、これからも全力でサポートしていきます。

■外国にルーツのある子どもたちを支援する東京 YMCA の取り組みについて、2 月 27 日の朝日新聞デジタル版、及び 3 月 19 日

の朝日新聞朝刊紙面で紹介されました。なお、本件の支援活動（山中湖サマーキャンプ、にほんごサポートプログラム等）のためのクラウドファンディングは、250 万円を目標に 4 月 18 日まで実施しております。

■「2 月 26 日、いじめのない世界をめざす「YMCA ピンクシャツデー」が全国の YMCA で実施。東京 YMCA でも、各学校、保育園、児童館、学童クラブをはじめ各拠点で、子どもたちや教職員がいじめ反対をアピールするピンクのシャツを着用した他、いじめについて考える様々な取り組みを行い、その様子を HP で紹介しています。

■11 月に雨天延期の国際協力一斉街頭募金を、3 月 22 日に新宿駅周辺で実施しました。会員・ユースボランティア・学生・メンバー・職員が街頭に立ち、バン格拉デシュの子どもたちへの支援を呼びかけ 124,971 円が寄せられました。

担当主事代理 波々壁 賢

編集後記

4 月 10 日に私が通う弓町本郷幼稚園で新しい園児が与えられました。

3 歳から 5 歳までの新入園児はとても可愛らしく、自分の名前を呼ばれると大きな声で返事をし、前に出て行く子やまたお母さんにしがみつき前に出られずいると、在園児から頑張れ頑張れと励ましの声が響き、それは楽しいひと時でした。

これからこの子供たちが成長していく姿も見られるのを楽しみにしています。

私たちのクラブもこのようなことがあれば願うことです。

また今月号も編集が遅く成ってしまいました。それでもいろいろと寄稿していただいたことに感謝をいたします (T・O)

